

## 令和8年度学校経営計画

学校名 東広島市立入野小学校

校長名 徳満 謙三

### I 学校の状況

学級数	9	児童・生徒数	122	教職員数	18
メールアドレス	nyuno-sho@city.higashihiroshima.hiroshima.jp				
ホームページアドレス	http://www.city.higashihiroshima.lg.jp/school/nyuno_sho/				

### II 教育目標

「夢と志」をもち、未来に向かって果敢に挑戦する児童の育成

### III 経営理念（ミッション・ビジョン）

<p>ミッション（目指す児童像）：</p> <p>自分も相手も大切に、自ら考えて行動することができる児童の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ かんがえる子 … 自分の考えをもち、友だちと協力して問題を解決する子</li> <li>・ がんばる子 … 目標の実現に向けて粘り強く取り組む子</li> <li>・ やさしい子 … 相手のことを考えて表現する子</li> <li>・ けんこうな子 … 基本的な生活習慣が身に付いている子</li> </ul> <p>ビジョン（目指す学校像）：</p> <p>信頼される開かれた学校づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 安心・安全な学校</li> <li>・ 環境の整った美しい学校</li> <li>・ 保護者や地域に開かれた学校</li> </ul>
--

### IV 中期経営目標及び短期経営目標（☆河内町共通）

項目	重点	中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための方策	評価項目
確かな学力	1	深い学びの実装	☆知識・技能の習得	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ICT機器の活用を推進し、学習内容のイメージ化を図る。</li> <li>・ スキルタイムにおいて繰り返し学習を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ NRT、標準学力調査標準スコア（国語・算数） 【スコア 50以上】</li> </ul>
			○個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個と小集団の学び場面を組み合わせ、既有知識や経験と結び付けて表現させる。</li> <li>・ ユネスコスクールとして、SDGsの達成を目指し、地域創生プロジェクトで体験活動を実施するとともに、教育活動を通じて児童生徒の表現意欲を高める工夫を行い、成果を発信する機会を設ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業では、課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる。 【児童評価 80%以上】</li> <li>・ 自分の地域の良さを表現している。 【児童評価 85%以上】</li> <li>・ 児童が表現したくなるような指導の工夫をしている。 【教職員評価 100%】</li> </ul>

豊かな心	2	社会性と自己有用感の向上	☆相手を大切に する礼儀・マナー の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>東広島スタンダード（特に挨拶）を示し、意識させる。</li> <li>各学級において挨拶する機会を意図的に設定するとともに、挨拶レベル向上のための取組を考えさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>あいさつレベル3が できている。 【児童評価 70%以上】 【教職員評価 80%以上】</li> </ul>
			○自己有用感 の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学級において、お互いを褒め合う場面を定期的に設定する。</li> <li>各種場面で役割を与え、人との関わりを意識させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>褒められて嬉しいと感じたことがある。</li> <li>自分は学校生活や授業で役割がある。 【児童評価 各80%以上】</li> </ul>
健やかな体	3	基本的な生活習慣の定着と身体づくり	☆学習姿勢の 意識化	<ul style="list-style-type: none"> <li>姿勢を安定させることが健康の保持につながることを学習させる。</li> <li>体幹を鍛えるエクササイズを実施する。</li> <li>授業の開始・終了時の「立腰」で意識させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>姿勢を安定させることが健康のために大切であることを知っている。</li> <li>立腰を意識し、取り組んでいる。 【児童評価 各70%以上】</li> </ul>
			○運動・外遊 びの奨励	<ul style="list-style-type: none"> <li>委員会活動を中心に、運動や外遊び奨励の取組を企画・実行するとともに、環境整備を進める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動や外遊びが好きである。 【児童評価 90%以上】</li> </ul>
信頼される学校	4	教職員の働き方に対する意識の醸成	☆コミュニ ティ・スク ールの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者アンケートを実施し、保護者の様子を把握するとともに、学校の様子を学校運営協議会、保護者、地域に発信する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校は、学校の様子を分かりやすく伝えている。 【保護者評価 90%以上】</li> </ul>
			○業務改善の 推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>各業務について、前回の成果と課題を踏まえ、担当者を明記した実施要項を計画的に作成・周知する。</li> <li>児童と向き合うための教職員同士の対話を通して、アイデアを共有し、改善意識や同僚性を高める。</li> <li>児童及び保護者の話を聴き、心理的安全性を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分が掲げた業務目標に向かい、効果的・効率的な仕事ができている。 【教職員評価 90%以上】</li> <li>児童と向き合う時間（授業準備等含む）が確保できている。 【教職員評価 70%以上】</li> </ul>

## V 学校評価

### 1 学校評価システムの組織（構成者を含む）

学校、地域住民及び保護者等が協力して学校運営に取り組むことを促進するため、地域の住民、保護者、関係行政機関の職員、校長等で構成する学校運営協議会を開催する。

### 2 自己評価及び学校関係者評価の実施計画（公表方法を含む）

企画委員会で学校評価会議を開催するとともに、次のマネジメントサイクルで改善を図り、ホームページ及び学校だより等で公表する。

自己評価表の作成（4月）→学校運営協議会での説明（4月）→実践→自己評価・改善方策の明確化（10月・1月）→学校運営協議会での学校関係者評価（11月・2月）→実践